

ヤリスクロス モデリスタバージョン

カラードフェンダー 取付要領書

品番:D2756-63810-**

設定型式: MXPB1#/MXPJ8# 設定グレード: 全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、カラードフェンダーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱が無い様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行って下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さないよう注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 両面テープ・エンドモール（両面テープ付き）を貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう）
ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行っても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。
- ⑤ 重要 ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。（PACプライマーK-500を本品に添付）
- ⑤ 重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ⑤ 重要 ■ 両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)

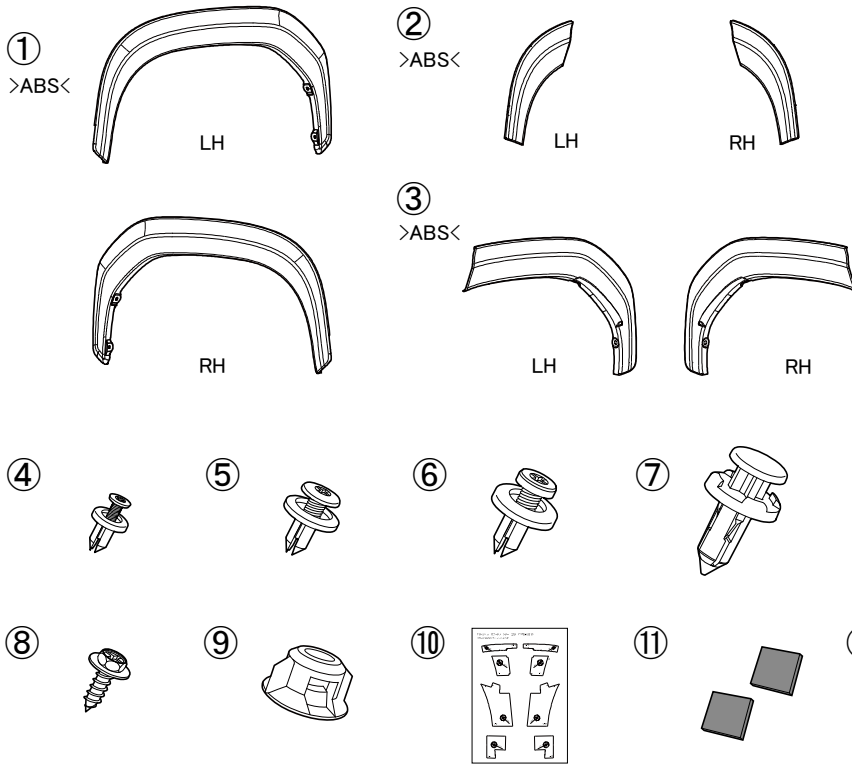
取り付け完了後の点検・注意事項

- カラードフェンダーが、車両フェンダーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、カラードフェンダー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**24時間程度**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。（両面テープの剥がれ、車両フェンダーとカラードフェンダーの間に隙間が発生するおそれがあります）
- 本品は一部両面テープで取り付けを行っております。
給油時にガソリンが両面テープに掛かりますと剥がれの原因になりますので、ガソリンが吹きこぼれた場合は速やかに拭き取り、水等を掛けて下さい。



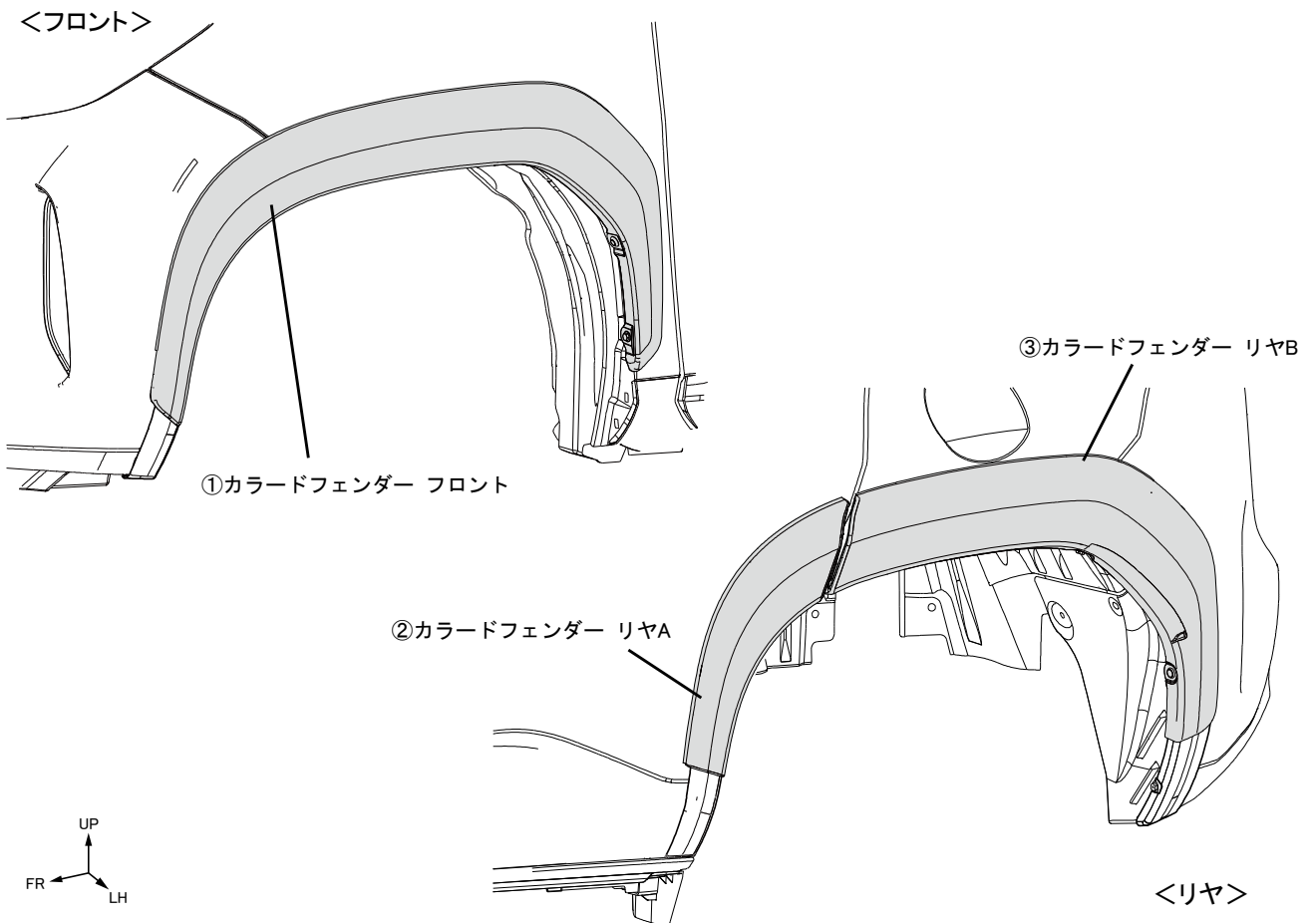
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	カラードフェンダー フロント	LR 各1
②	カラードフェンダー リヤA	LR 各1
③	カラードフェンダー リヤB	LR 各1
④	スクリベットA (小)	2
⑤	スクリベットB (中)	4
⑥	スクリベットC (大)	2
⑦	プッシュブルリベット	2
⑧	タッピングスクリュー (M6×20)	2
⑨	クリップ	6
⑩	型紙	1
⑪	ネオスポンジ	2
⑫	PACプライマー K-500	1
⑬	取付要領書	1

取り付け概要

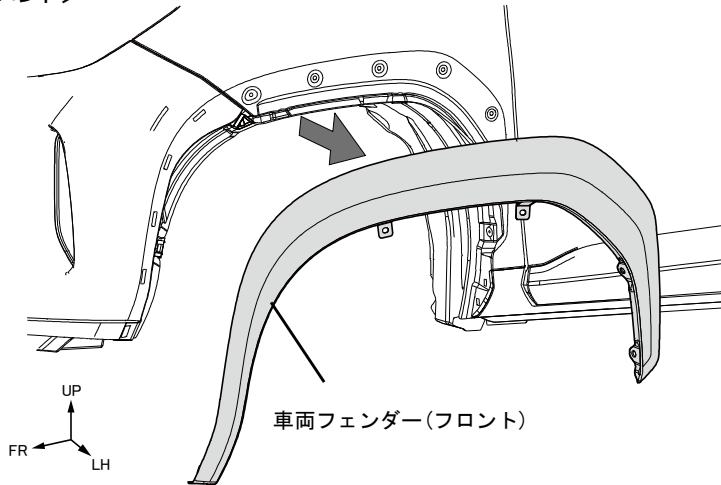


取り付け手順

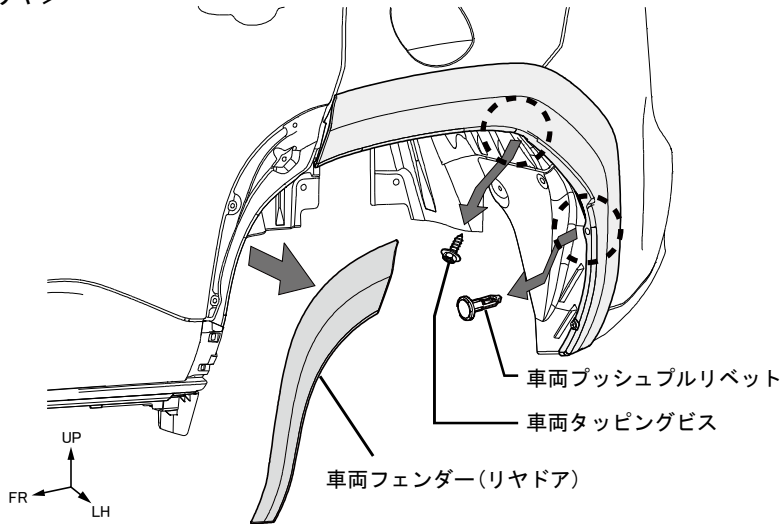
(本紙はLHを示す。RH側も同様の作業を行う。)

① 取り付け準備

<フロント>

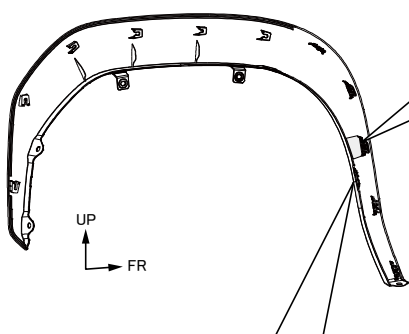


<リヤ>



<フロント>

車両フェンダー(フロント)裏面



型紙 B

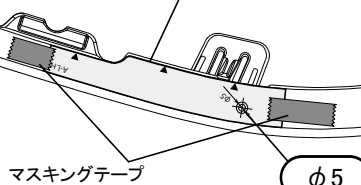
マスキングテープ

型紙上の▲を
車両フェンダー形状に合わせる

φ12

型紙 A

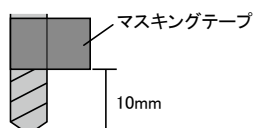
型紙上の▲を
車両フェンダー末端に合わせる



φ5

アドバイス

・製品への突き抜け防止の為、ドリルにマスキングテープを貼り付ける(下図参照)



1. 車両フェンダー(フロント、リヤドア)を取り外す。
車両フェンダー(リヤバンパー)は○部の部品のみ取り外す。
(左図参照)

アドバイス

・車両フェンダー等を取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照してください。

アドバイス

・取り外した部品は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。

2. 車両フェンダー(フロント)に型紙A,Bを左図の要領で位置決めし、マスキングテープなどで貼り付ける。

3. 型紙の穴センター部に下穴をあける。

アドバイス

・下穴をあける際は、穴の中心を狙いケガキ針や画鋸を用いて行なって下さい。

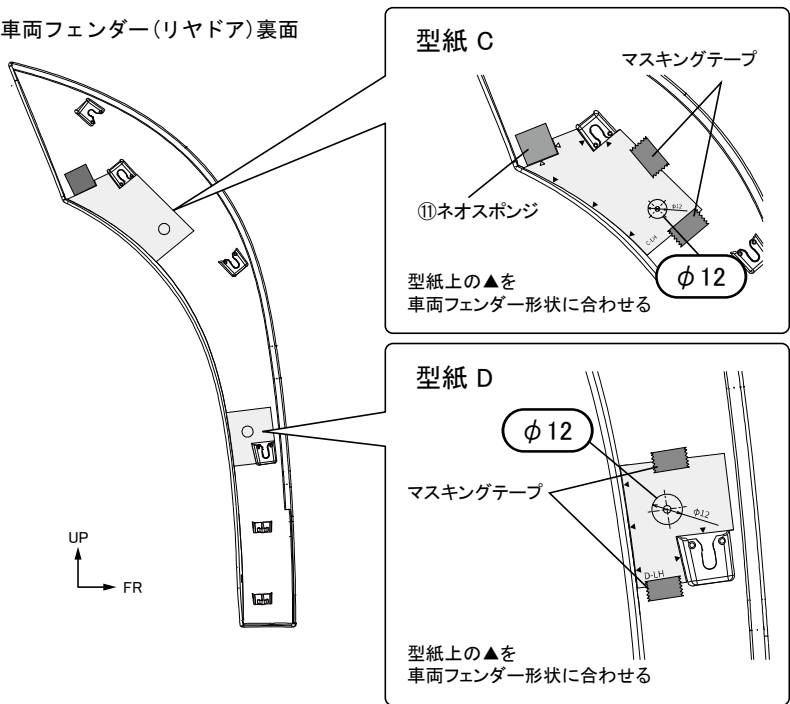
4. 車両フェンダー(フロント)に指定の穴径で穴をあける。

アドバイス

・穴あけの際は、
下穴 φ3mm → φ5mm
下穴 φ3mm → φ6mm → φ12mm
で穴あけを行なって下さい。

<リヤドア>

車両フェンダー(リヤドア)裏面



5. 車両フェンダー(リヤ)裏面に型紙C,Dを左図の要領で位置決めし、マスキングテープなどで貼り付ける。
6. 脱脂をし、型紙Cに合わせて⑩ネオスポンジを貼り付ける。
7. 型紙の穴センター部に下穴をあける。

アドバイス

- ・下穴をあける際は、穴の中心を狙いケガキ針や画鋸を用いて行なって下さい。

8. 車両フェンダー(リヤドア)に指定の穴径で穴をあける。
- アドバイス**
- ・穴あけの際は、下穴φ3mm→φ6mm→φ12mmで穴あけを行なって下さい。

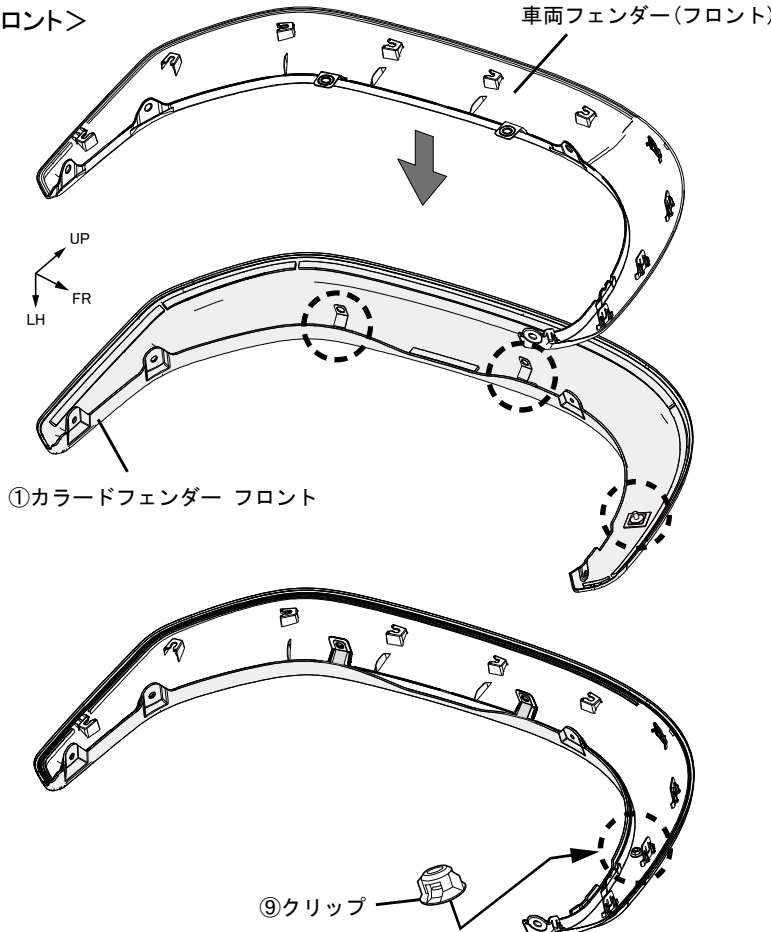
アドバイス

- ・穴あけ後にバリが出た場合は、バリ取り処理を行なって下さい。

9. 型紙を全て取り外す。

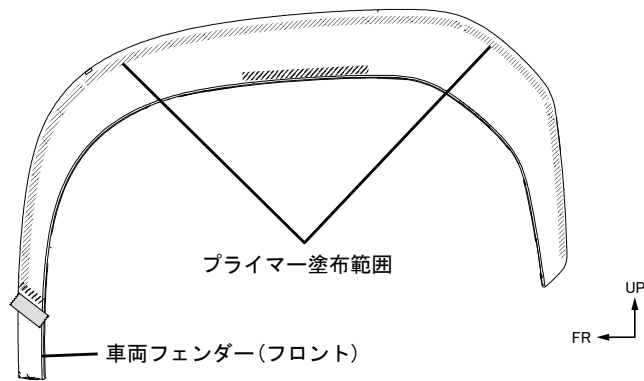
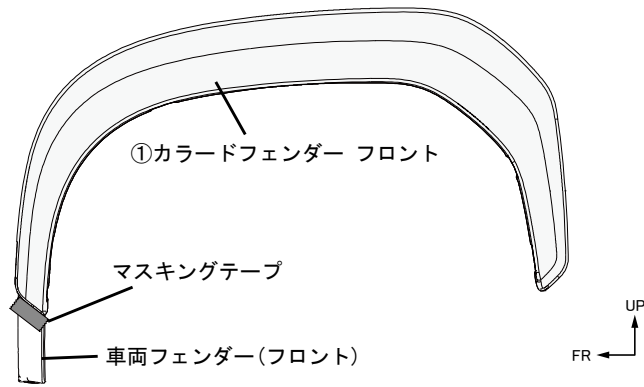
② 仮組とプライマーの塗布

<フロント>

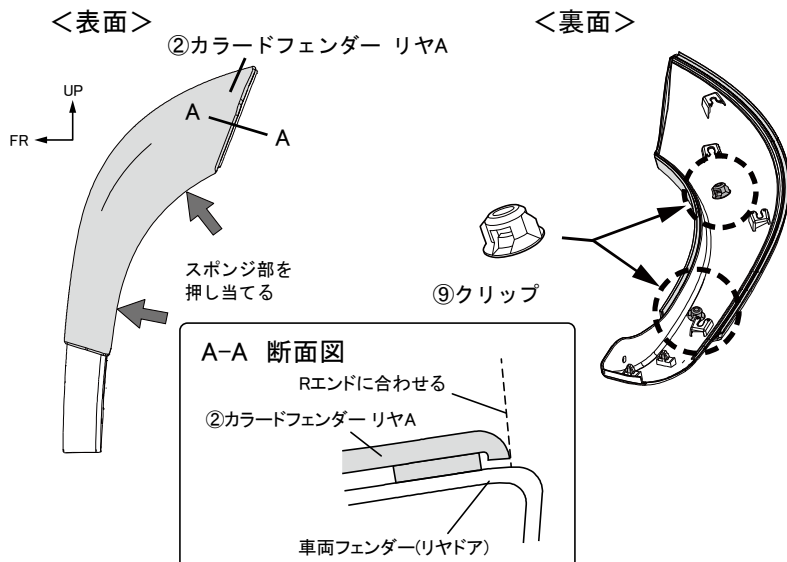
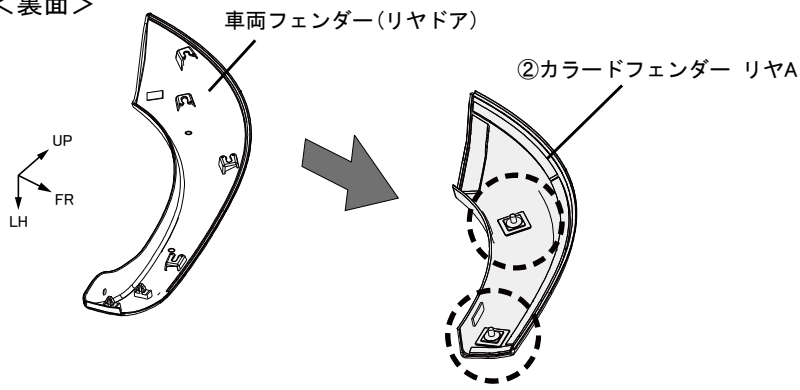


1. 左図を参考に、①カラードフェンダー(フロント)に車両フェンダー(フロント)を○部のボルト、ブラケットに注意しながらかぶせる。
- アドバイス**
- ・車両フェンダーにキズをつけるおそれがあるため、製品にかぶせる際は裏面の金具に注意して取り付けを行なって下さい。

2. ①カラードフェンダー(フロント)と車両フェンダーの全穴位置を目視で揃える。
3. ⑨クリップをボルト部に押し込み、仮締めする。



<リヤドア>
<裏面>



4. 左図を参考に、車両フェンダー(フロント)にマスキングテープを貼り付ける。
5. 製品を取り外し、プライマー塗布範囲(左図斜線部)を清掃・脱脂する。
6. プライマー塗布範囲(左図斜線部)に⑫PACプライマー-K-500を塗布する。

アドバイス

- ・PACプライマー-K-500は、②～③カラードフェンダー取り付け時に再使用しません。揮発性が高いため、塗布後速やかに袋に戻し、揮発を抑えて下さい。

アドバイス

- ・PACプライマー-K-500は、特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・PACプライマー-K-500塗布後は常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分のボディーコートを除去して下さい。

7. プライマー塗布後、マスキングテープを剥がす。

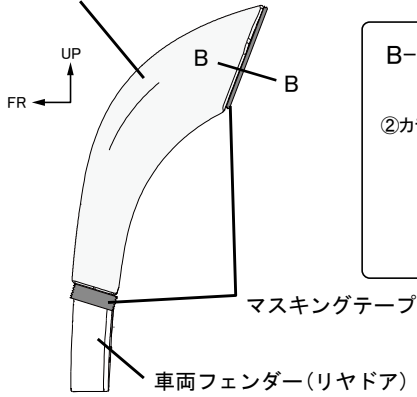
8. 左図を参考に、②カラードフェンダー(リヤA)に○部のボルトに注意しながら車両フェンダー(リヤドア)をかぶせる。

アドバイス

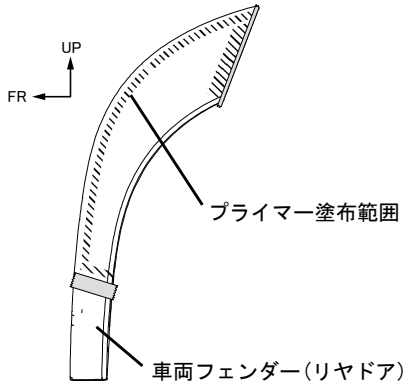
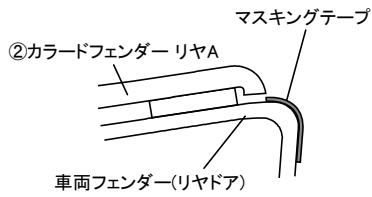
- ・車両フェンダーにキズをつけるおそれがあるため、製品にかぶせる際は裏面のボルトに注意して取り付けを行なって下さい。

9. ②カラードフェンダー(リヤA)と車両フェンダー(リヤドア)の取り付け位置を決め、⑨クリップをボルト部に押し込み、仮締めする。

②カラードフェンダー リヤA

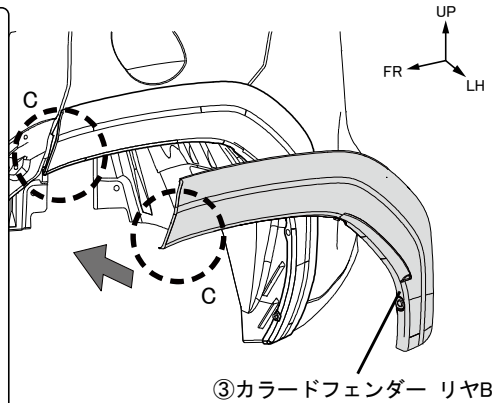
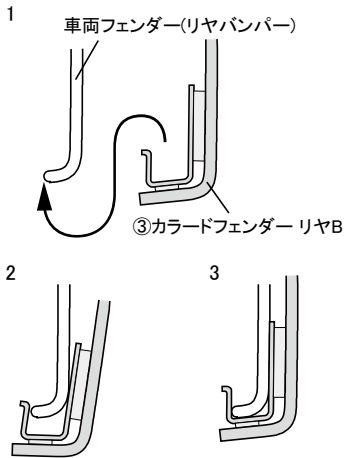


B-B 断面図

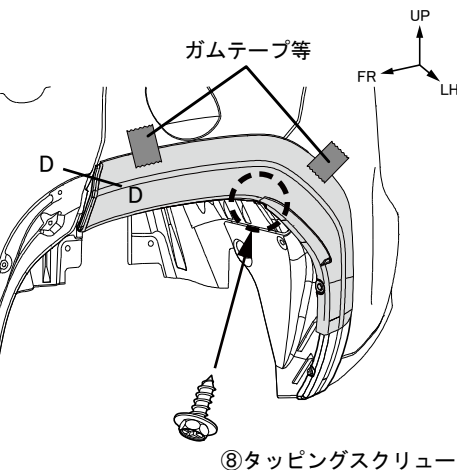
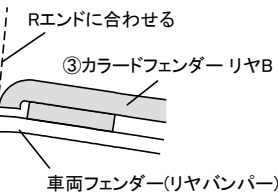


<車両リヤフェンダー部>

C部 取り付け方法



D-D 断面図



10. 左図を参考に、車両フェンダー(リヤドア)にマスキングテープを貼り付ける。
11. 製品を取り外し、プライマー塗布範囲(左図斜線部)を清掃・脱脂する。
12. プライマー塗布範囲(左図斜線部)に⑫PACプライマーK-500を塗布する。

👉 アドバイス

- ・PACプライマーK-500は、②～③カラードフェンダー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、塗布後速やかに袋に戻し、揮発を抑えて下さい。

👉 アドバイス

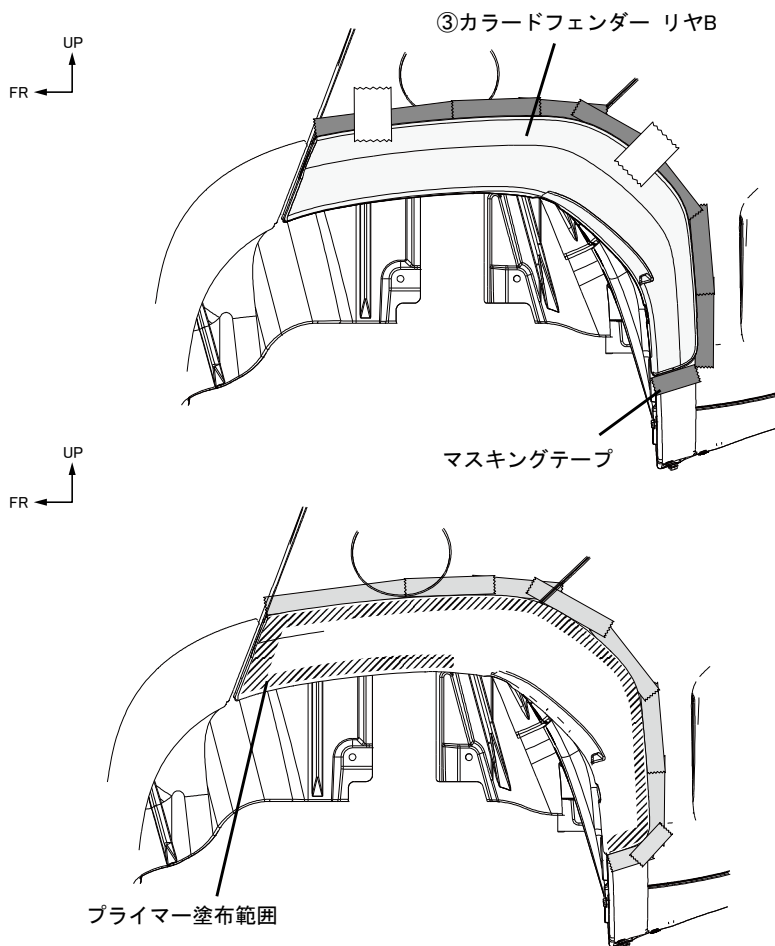
- ・PACプライマーK-500は、特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・PACプライマーK-500塗布後は常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分のボディーコートを除去して下さい。

13. プライマー塗布後、マスキングテープを剥がす。

14. 左図を参考に、C部に注意しながら③カラードフェンダー(リヤB)を車両フェンダー(リヤバンパー)部にかぶせる。

15. 左図を参考に、③カラードフェンダー(リヤB)と車両フェンダー(リヤバンパー)部の取り付け位置を決め、⑧タッピングスクリューを仮締めし、ゴムテープ等で仮固定する。


<車両リヤフェンダー部>



16. 左図を参考に、車両フェンダー(リヤバンパー)にマスキングテープを貼り付ける。

17. 製品を取り外し、プライマー塗布範囲(左図斜線部)を清掃・脱脂する。

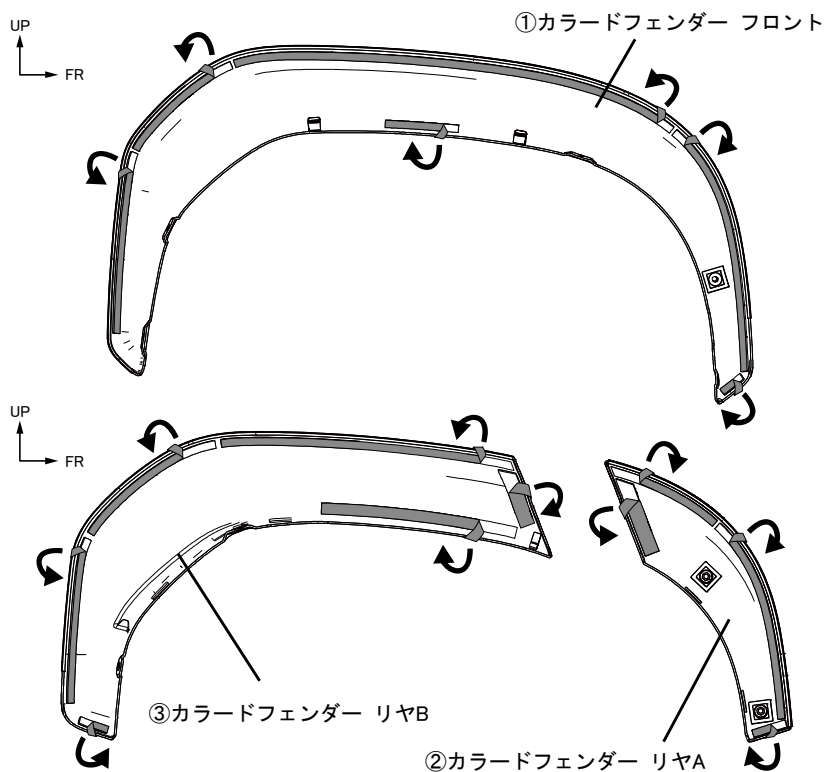
18. プライマー塗布範囲(左図斜線部)に⑫PACプライマー-K-500を塗布する。

 アドバイス

- ・PACプライマー-K-500は、特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・PACプライマー-K-500塗布後は常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分のボディーコートを除去して下さい。

19. プライマー塗布後、マスキングテープを剥がす。

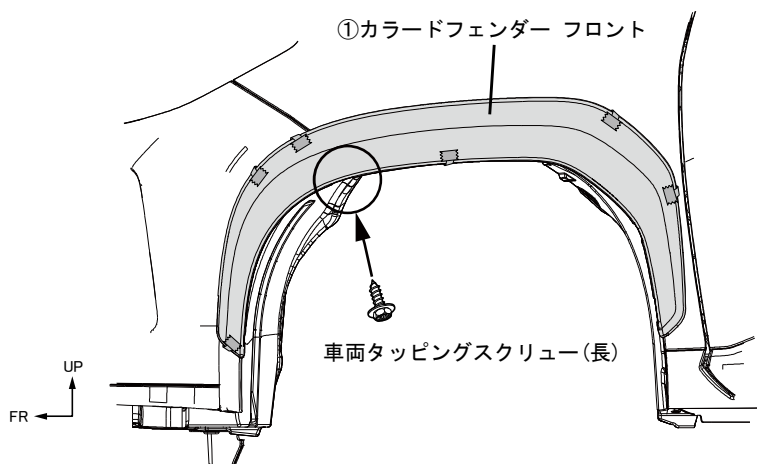
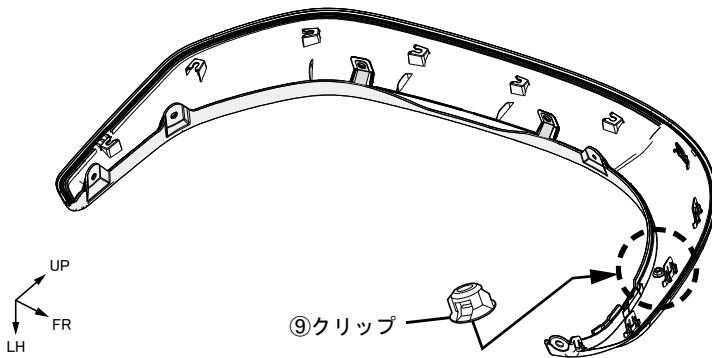
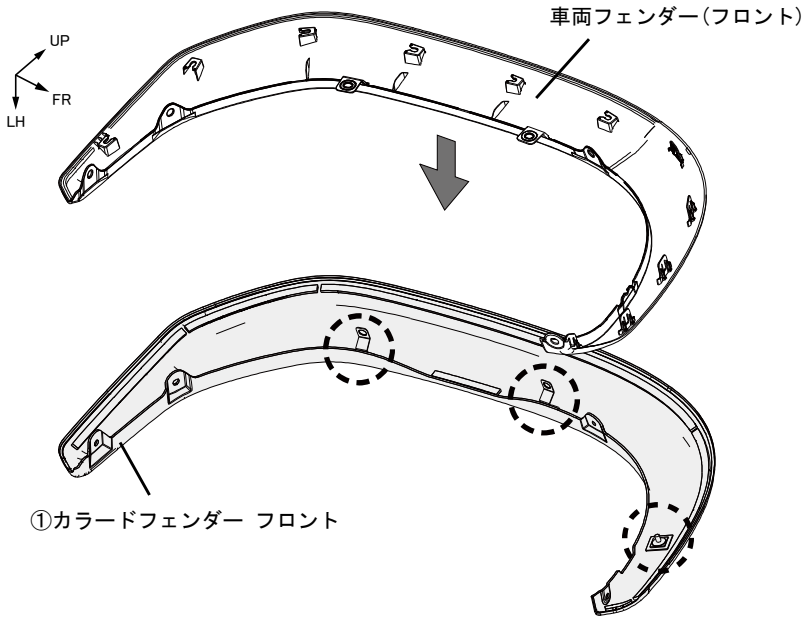
③ 取り付け準備



1. ①～③カラードフェンダーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

④ 取り付け

<フロント>



1. 左図を参考に、①カラードフェンダー(フロント)に車両フェンダーを○部のボルト、ブラケットに注意しながらかぶせる。

👉 アドバイス

- ・車両フェンダーにキズをつけるおそれがあるため、製品にかぶせる際は裏面のボルト、ブラケットに注意して取り付けを行なって下さい。

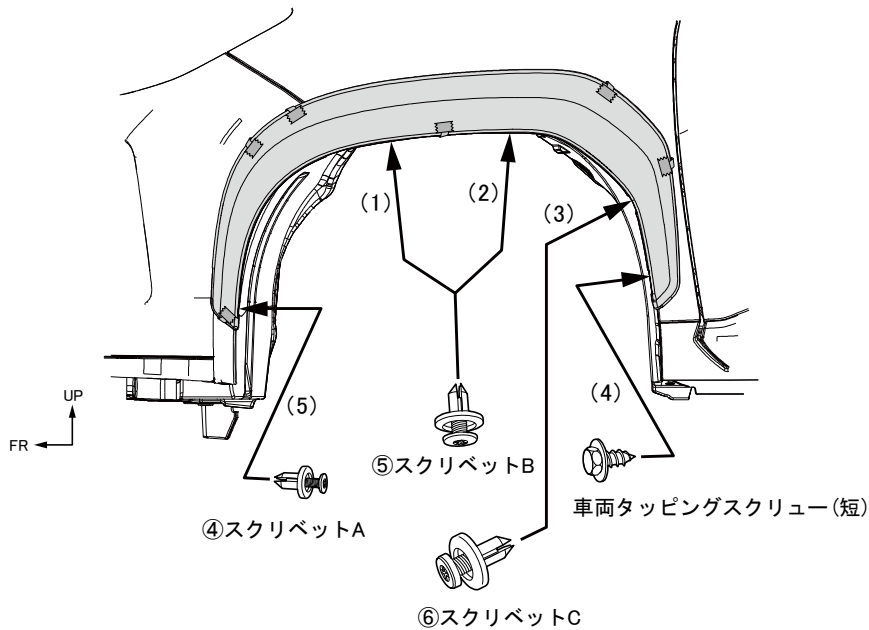
2. ①カラードフェンダー(フロント)と車両フェンダーの全穴位置を目視で揃える。

3. ⑨クリップをボルト部に押し込み、本締めする。

4. ①カラードフェンダー(フロント)を装着したフェンダーを車両に取り付け、穴位置が揃っていることを再確認し、車両タッピングスクリュー(長)を仮締めする。

👉 アドバイス

- ・車両フェンダーを復元する際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照してください。

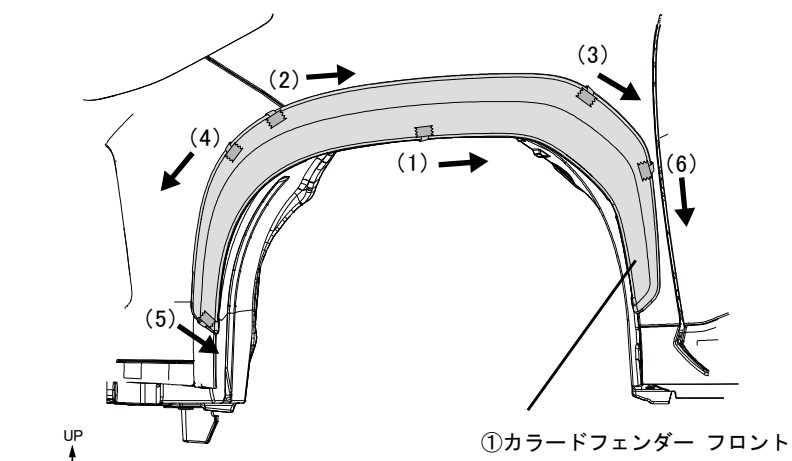


5. ④スクリベットA、⑤スクリベットB、
⑥スクリベットC、車両タッピングスクリ
ュー(短)を左図の(1)～(5)の順に装着
する。
(車両タッピングスクリュー(短)は仮締
め)

6. 両面テープ離型紙を左図の(1)～(6)の
順に引き抜きながら圧着する。

アドバイス

- ・両面テープの貼り直しをすると、
接着力が極端に低下します。
また、製品に亀裂が入るおそれがあり
ますので、気を付けて作業してく
ださい。
- ・離型紙が途中で切れない様にカラ
ードフェンダーを少し浮かしながら離
型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は49N(5kgf)程
度の力で行って下さい。



7. 3時間後、仮締めしていた車両タッ
ピングスクリュー(長)、(短)を本締め
する。

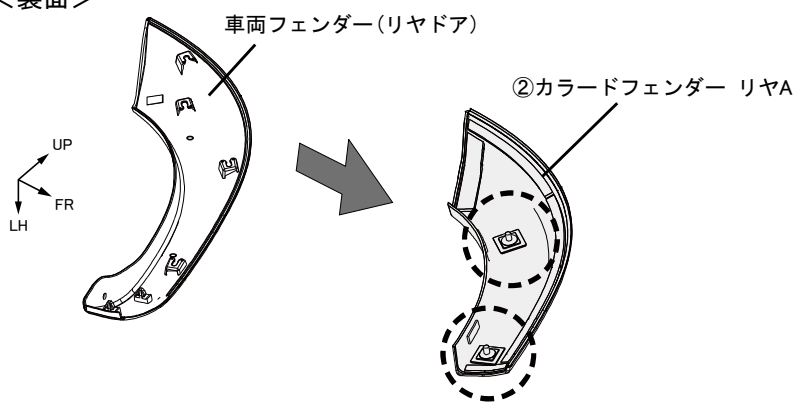
8. 左図を参考に、②カラードフェンダー
(リヤA)に○部のボルトに注意しながら
車両フェンダー(リヤドア)をかぶせる。

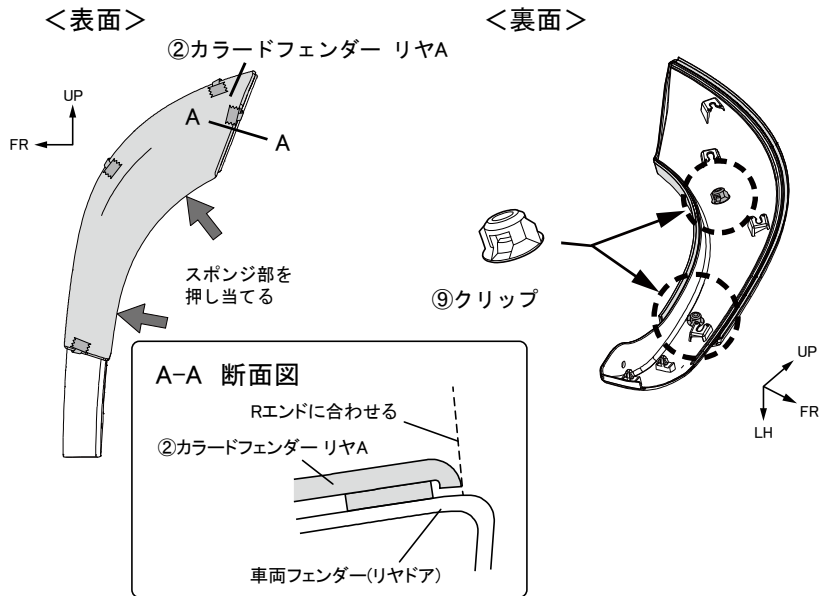
アドバイス

- ・車両フェンダーにキズをつけるおそ
れがあるため、製品にかぶせる際は
裏面のボルトに注意して取り付けを
行なって下さい。

<リヤドア>

<裏面>





9. ②カラードフェンダー(リヤA)と車両フェンダー(リヤドア)の取り付け位置を決め、⑨クリップを本締めする。

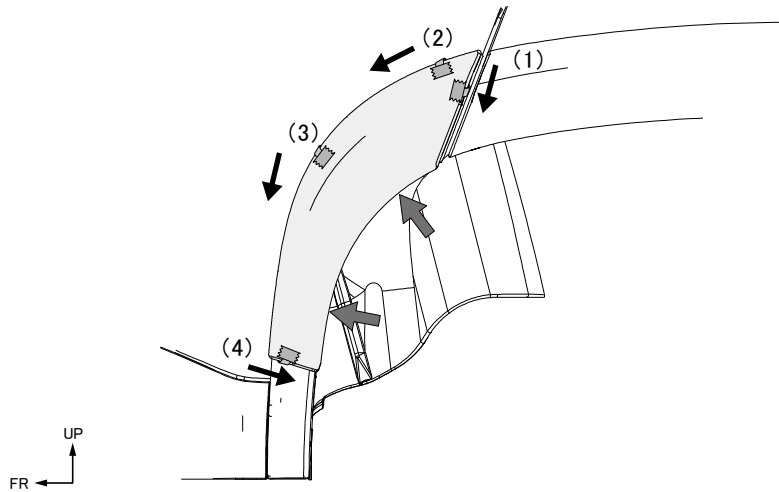
10. ②カラードフェンダー(リヤA)を装着した車両フェンダー(リヤドア)を車両に取り付ける。



アドバイス

- ・車両フェンダーを復元する際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照してください。

<車両リヤドア部>



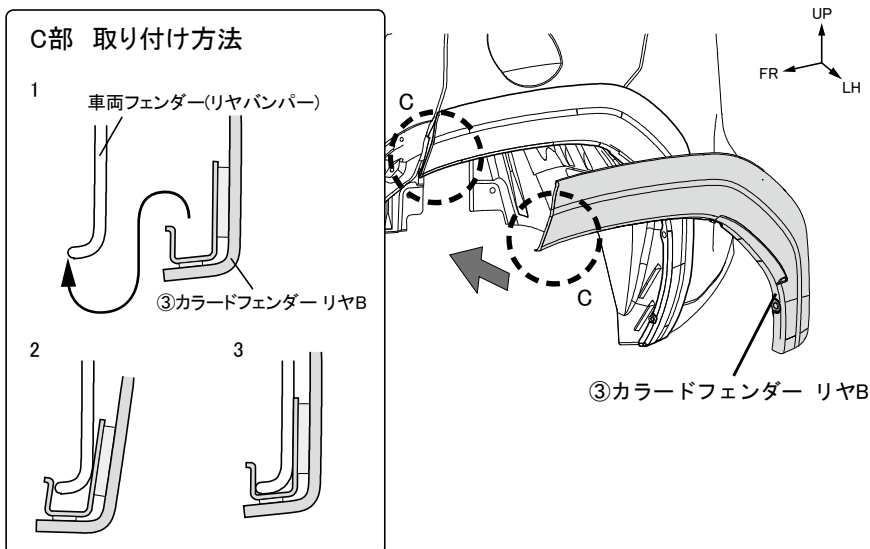
11. 両面テープ離型紙を左図の(1)～(4)の順に引き抜きながら圧着する。



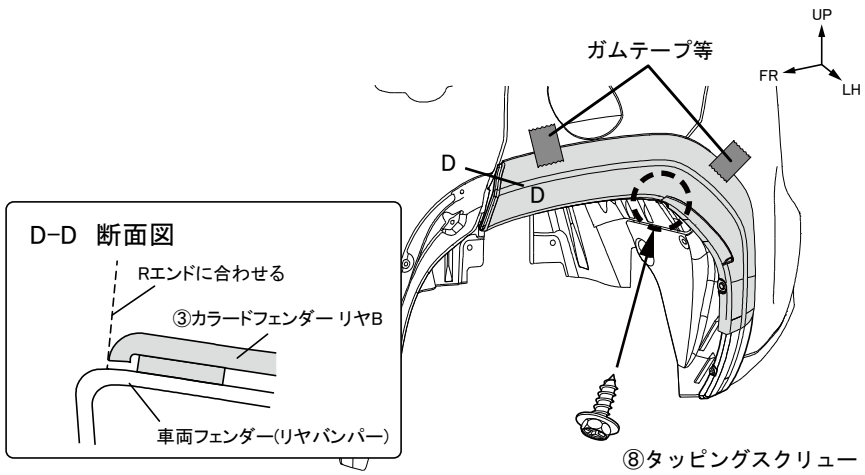
アドバイス

- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。また、製品に亀裂が入るおそれがありますので、気を付けて作業してください。
- ・離型紙が途中で切れない様にカラードフェンダーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は49N(5kgf)程度の力で行って下さい。

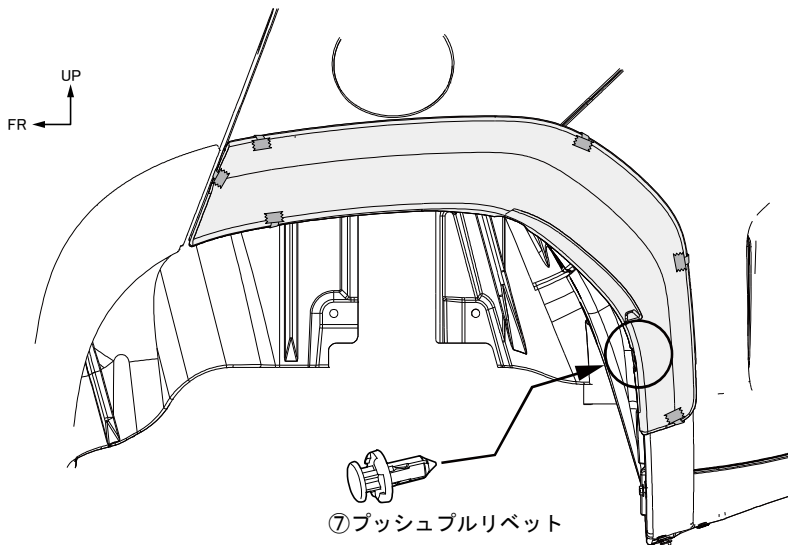
<車両リヤフェンダー部>



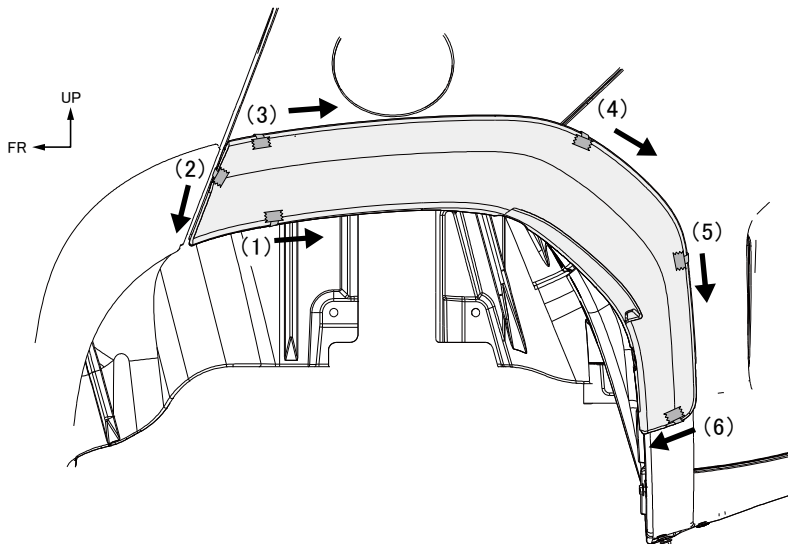
12. 左図を参考に、C部に注意しながら③カラードフェンダー(リヤB)を車両フェンダー(リヤバンパー)部にかぶせる。



13. 左図を参考に、③カラードフェンダー(リヤB)と車両フェンダー(リヤバンパー)部の取り付け位置を決め、⑧タッピングスクリューを仮締めし、ガムテープ等で仮固定する。



14. ⑦プッシュプルリベットで固定する。



15. 両面テープ離型紙を左図の(1)～(6)の順に引き抜きながら圧着する。

アドバイス

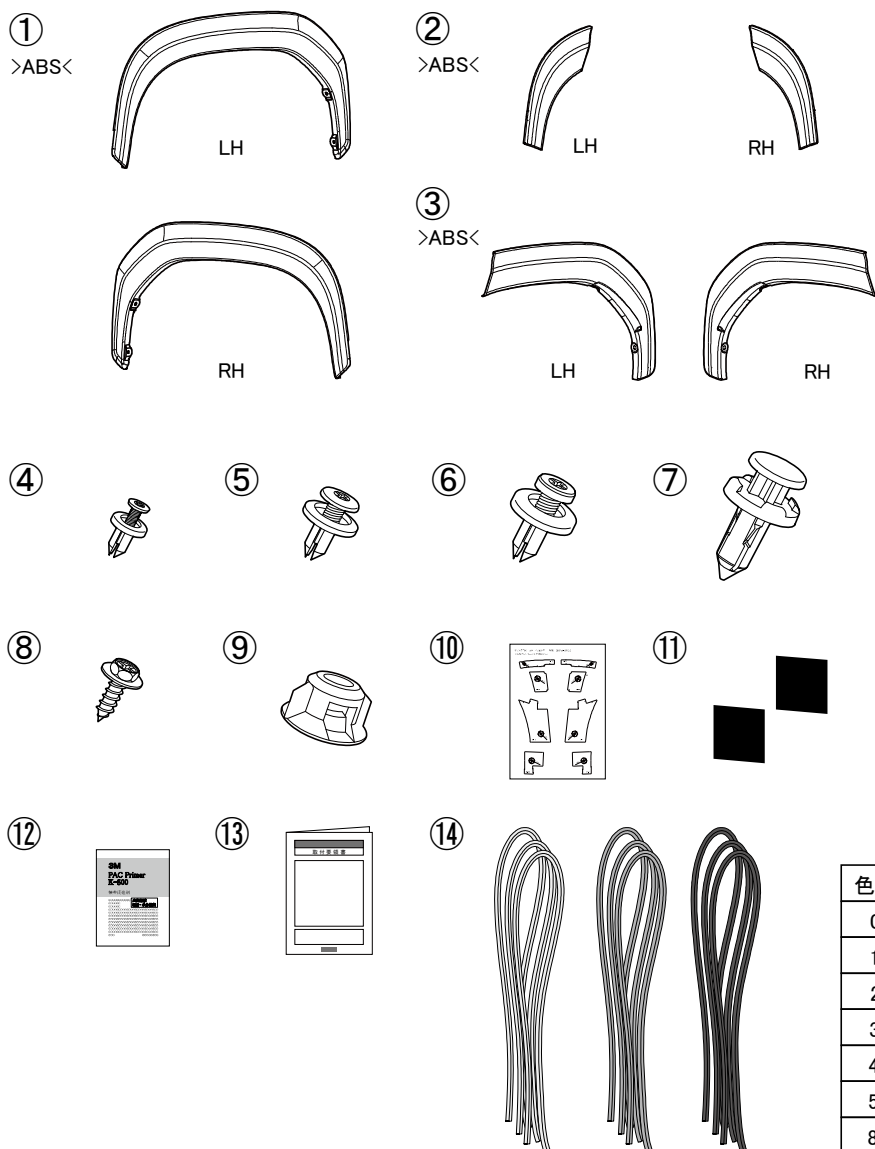
- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。また、製品に亀裂が入るおそれがありますので、気を付けて作業してください。
- ・離型紙が途中で切れない様にカラードフェンダーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は49N(5kgf)程度の力で行って下さい。

16. 3時間後、仮締めしていた⑧タッピングスクリューを本締めする。

17. カラードフェンダーの浮き・剥がれがないかを確認し、再度両面テープ貼り付け面を圧着する

カロードフェンダー素地品の塗装手順 (本紙はLHを示す。RH側も同様の作業を行う。)

構成部品



No.	品名	個数
①	カロードフェンダー フロント	LR 各1
②	カロードフェンダー リヤA	LR 各1
③	カロードフェンダー リヤB	LR 各1
④	スクリベットA (小)	2
⑤	スクリベットB (中)	4
⑥	スクリベットC (大)	2
⑦	プッシュブルリベット	2
⑧	タッピングスクリュー (M6×20)	2
⑨	クリップ	6
⑩	型紙	1
⑪	ネオスポンジ	2
⑫	PACプライマー K-500	1
⑬	取付要領書	1
⑭	エンドモール(ライトグレー/グレー/ブラック)	各3

⑭ エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
1L0	シルバーメタリック	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
3T3	センシユアルレッドマイカ	ブラック
4V6	ベージュ	グレー
5C2	プラスゴールドメタリック	ブラック
8W2	グレイッシュブルー	グレー
8W7	ダークブルーマイカメタリック	ブラック

塗装作業

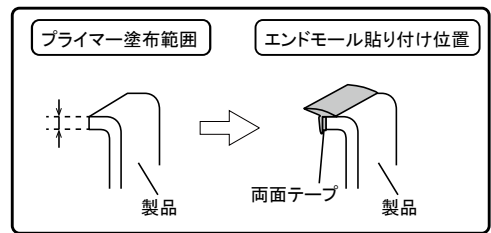
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープ、スポンジをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。
4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず 60℃以下 で乾燥させて下さい。

エンドモールの貼り付け

1. 塗装終了後、⑩エンドモールを貼り付ける部分を清掃・脱脂し、⑭PACプライマーK-500を塗布する。

アドバイス

- PACプライマーK-500は、①～③カラードフェンダー取り付け時に再使用します。
揮発性が高いので、塗布後速やかに袋に戻し、揮発を抑えて下さい。
- PACプライマーK-500は、特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- PACプライマーK-500塗布後は常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。



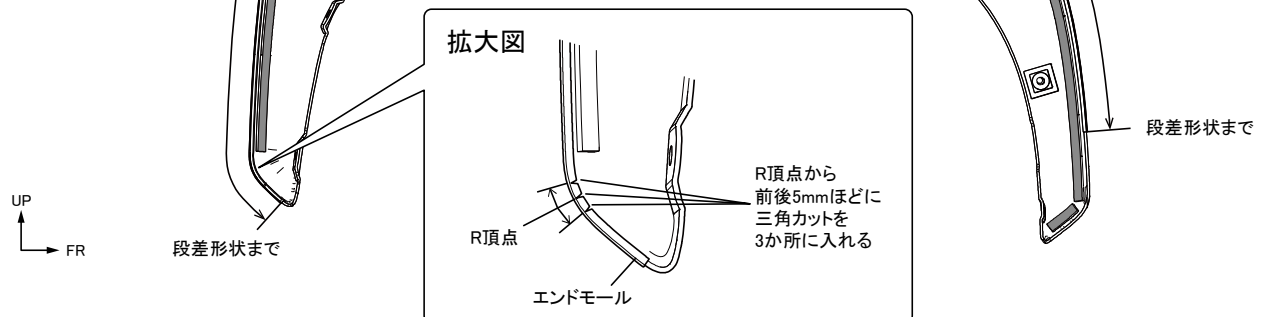
アドバイス

- エンドモールを貼り付ける際は、
①カラードフェンダー フロント (L側) + ③カラードフェンダー リヤB (L側)= 1本
①カラードフェンダー フロント (R側) + ③カラードフェンダー リヤB (R側)= 1本
②カラードフェンダー リヤA (LR)で 1本
でご使用下さい。

<フロント裏面>

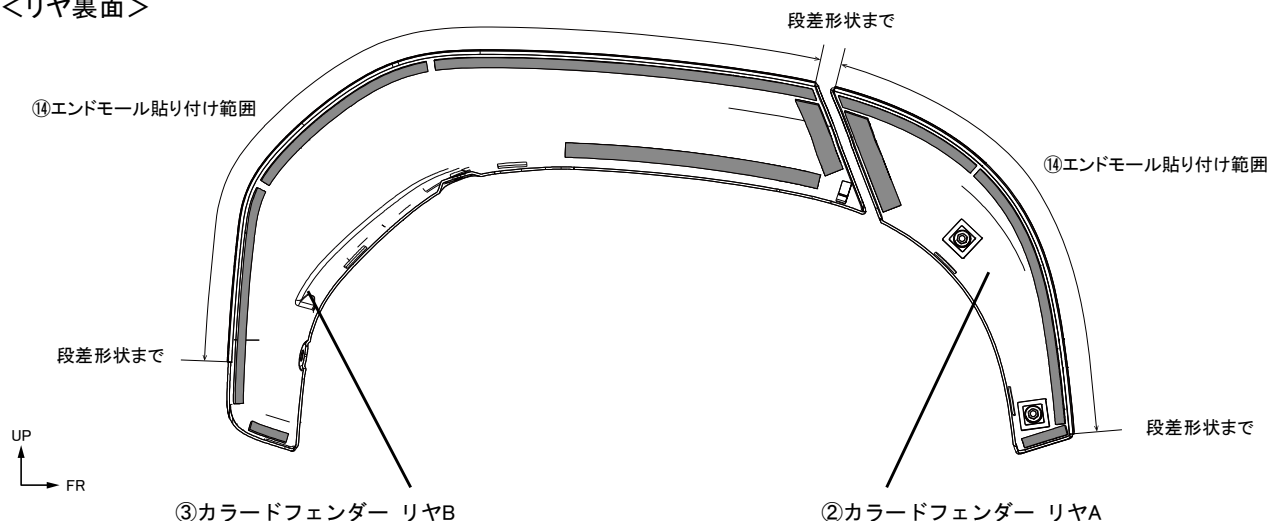
①カラードフェンダー フロント

⑭エンドモール貼り付け範囲



<リヤ裏面>

⑭エンドモール貼り付け範囲



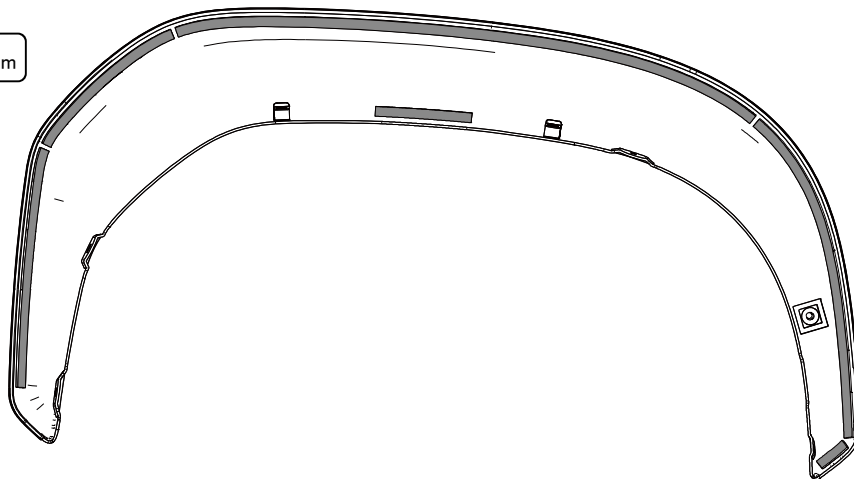
補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してカラードフェンダーの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択しPACプライマー-K-500を塗布した後、貼り付けを行なって下さい。

<フロント>

全て

幅10mm 厚み3.5mm



<リヤ>

